

# 危機管理（救急・災害）医学講座

## Crisis (Emergency and Disaster) Medicine

教授	奥寺 敬	Hiroshi Okudera
講師	若杉 雅浩	Masahiro Wakasugi
助教	工廣紀斗司	Kitoji Takuhiro
助教	旭 雄士	Takashi Asahi
助教(併)	今村 知代	Tomoyo Imamura

### ◆ 著 書

- 1) 太田富雄, 奥寺 敬, 高橋千晶: トピックス ECS (Emergency Coma Scale). 「脳神経外科救急ハンドブック」, 389, メディカ出版, 大阪, 2008.
- 2) 奥寺 敬, 若杉雅浩: 呼吸管理. 「脳神経外科救急ハンドブック」, 93-96, メディカ出版, 大阪, 2008.
- 3) 奥寺 敬, 若杉雅浩: 循環管理 (ショック・血圧管理). 「脳神経外科救急ハンドブック」, 97-99, メディカ出版, 大阪, 2008.
- 4) 奥寺 敬, 若杉雅浩訳: 「事故・災害時の MC ガイド」 Anders Ruter, Helene Nilsson, Tore Vikstrom 著, 中山書店, 東京, 2008.
- 5) 山本由加里\*, 奥寺 敬: 経皮ペーシングのやり方を教えて? 「モニター心電図 Q&A」, 138-139, 総合医学社, 東京, 2008.
- 6) 山本由加里\*, 奥寺 敬: 災害の種類と疾病構造, 災害サイクル. 「災害看護」, 酒井明子, 菊池志津子編, 17-24, 南江堂, 東京, 2008.

### <補遺>

- 7) Takahashi C.\*, Okudera H., Wakasugi M., Asahi T., Tange D., Origasa H., Arishima T., Aruga T., Sakamoto T., Ohta T.: Development of the New Coma Scale –A Basic Concept of the Emergency Coma Scale-. In the International Conference on Recent Advances in Neurotraumatology 2007, World Federation of Neurosurgical Societies Neurotrauma Committee (Ed), 53-56, Medimond, Bologna, Italy, 2007.
- 8) Takahashi C.\*, Okudera H., Wakasugi M., Asahi T., Yanagi K., Tange D., Okazawa S., Hamada J., Sakamoto T., Aruga .T., Ohta T., Origasa H.: Development and the present state of the new coma scale: a basic concept of the Emergency Coma Scale. In the International Conference on Recent Advances in Neurotraumatology 2007, World Federation of Neurosurgical Societies Neurotrauma Committee (Ed) , 49-52, Medimond, Bologna, Italy, 2007.

### ◆ 原 著

- 1) Takahashi\* C., Okudera H., Ohta T.: Easy and Accurate New Scale for Evaluating Consciousness Level of Patients with Stroke: The Emergency Coma Scale. Cerebrovascular Diseases, 25 (suppl 2): 192, 2008.
- 2) 旭 雄士, 中道尚美, 浜田秀雄, 高岩亜輝子, 林 央周, 遠藤俊郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: パーキンソン病に対する両側視床下核刺激療法による認知機能および精神機能の変化の検討. 機能的脳神経外科, 47: 94-95, 2008.
- 3) 今村知代, 山崎光章, 小野 繁: 病悩期間が 10 年以上の顔面疼痛が治療により治癒・軽快した 2 症例. 富山大学医学雑誌, 19: 1-4, 2008.
- 4) 高橋千晶\*, 奥寺 敬: 剣 ISLS コースの運営と現状報告 –コース内の Emergency Coma Scale の位置づけも含め-. Neurosurg Emerg, 13: 117-123, 2008.
- 5) 今村知代, 奥寺 敬, 有賀 徹, 池上敬一, 坂本哲也: 歯科・口腔外科のための DCLS (Dental Crisis Life Support) コースの開発. 第 26 回富山救急医療研究会, 2, 2008.
- 6) 峯 隼人, 旭 雄士, 高橋千晶, 若杉雅浩, 安田佐智子, 奥寺 敬: 医学教育の一環としての化学災害訓練の試み. 富山大学医学雑誌, 19: 47-50, 2008.

### <補遺>

- 7) 高橋千晶\*, 奥寺 敬, 坂本哲也, 有賀 徹, 太田富雄: Emergency Coma Scale 多施設合同研究 -中間報告 2007-. 地域救急災害医療研究, 6: 31-60, 2007.

## ◆ 症例報告

- 1) 永尾征弥, 栗本昌紀, 永井正一, 黒崎邦和, 竹内幹伸, 旭 雄士, 遠藤俊郎: ヘルニア裂孔拡大術とパッチ法を合わせて施行した特発性脊髄ヘルニアの一例. 脊髄外科, 22: 28-32, 2008.

## ◆ 総 説

- 1) 吉崎めぐみ\*, 奥寺 敬: 症状別バイタルサインはこう読んでこう使う 頭痛. EMERGENCY CARE, 21: 26-32, 2008.
- 2) 吉崎めぐみ\*, 奥寺 敬: トリアージの実際 症状・傷病別トリアージの指針. EMERGENCY CARE (Suppl): 61-95, 2008.
- 3) 高橋千晶\*, 奥寺 敬: 意識障害の評価. 脳・神経系の管理 Q&A. 救急・集中治療, 20: 123-128, 2008.
- 4) 高橋千晶\*, 奥寺 敬: 脳卒中初期診療のポイントと pitfall. 救急医学, 32: 1513-1519, 2008.
- 5) 奥寺 敬, 高橋 千晶: 災害と mass gathering 医学. 日本醫事新報 4401, 46-48, 2008.
- 6) 奥寺 敬, 山本由加里: 大規模イベントにおけるマスキングと病院の対応. 救急医学, 32: 217-220, 2008.
- 9) 山本由加里: 救急医学会地方会 Report「第7回日本救急医学会中部地方会総会・学術集会」. Emergency Care, 21: 12-13, 2008.

## ◆ 学会報告

- 1) Imamura T., Okudera H., Tange D., Yamamoto Y.: Development of DCLS (Dentist's crisis management of life support) course as ALS simulation training system of dentist and dental surgeon in Japan. 8th International Meeting on Simulation in Healthcare, 2008, 1, 13, San Diego, USA.
- 2) Imamura T., Okudera H., Tange D., Yamamoto Y.: DCLS ( DENTAL CRISIS LIFE SUPPORT) COURSE AS SIMURATION TRAINING SYSTEM FOR DENTAL CRISIS MANEGEMENT IN JAPAN. 8th International Meeting on Simulation in Healthcare, 2008, 1, 13, San Diego, USA.
- 3) Tange D., Okudera H., Wakasugi M., Takahashi C., Imamura T., Sakamoto T.: The 1-Year Results of Simulation-Based Stroke Assesment Training Course for ER Staff-ISLS (Immediate Stroke Life Support) course. 8th International Meeting on Simulation in Healthcare, 2008, 1, 13, San Diego, USA.
- 4) Okudera H., Wakasugi M., Asahi T., Takahashi C., Imamura T., Tange D., Sakamoto T.: Development of Simulation-Based Stroke Assesment and Training Couse System for Emergency Room Staffs: ISLS (Immediate Stroke Life Support) course. 8th International Meeting on Simulation in Healthcare , 2008, 1, 13, San Diego, USA.
- 5) Takahashi C.\*, Okudera H.: ECS Consciousness Level Scale for Evaluation of Neurological Emergency Settings. International Stroke Conference 2008, 2008, 2, 20-22, New Orleans, USA.
- 6) Takahashi C.\*, Okudera H.: Easy and accurate new scale for evaluating consciousness level of patients with stroke: The Emergency Coma Scale. European Stroke Conference, 2008, 5, 13-16, Nice, France.
- 7) Imamura T., Okudera H., Sugahara T., Yamashita T., Tange D., Yamamoto Y.: Background of Development on exclusively designated resuscitative simulation course as Dental Crisis Life Support (DCLS) in Japan. 14th Annual Meeting of the society in Europe for Simulation Applied to Medicine, 2008, 6, 19, Hatfield, UK.
- 8) Okudera H: Simulation training system for acute stroke management in Japan. ISLS course and PSLs course. SIMTECT Health 2008 Simulation Conference, 2008, 9,8-11, Brisbane, Australia.
- 9) 高橋千晶\*, 奥寺 敬: 剣 ISLS コースの運営と現状報告 -コース内の Emergency Coma Scale の位置づけも含め-. 第13回日本脳神経外科救急学会, 2008, 1, 18-19, 東京.
- 10) 旭 雄士, 中道尚美, 浜田秀雄, 高岩亜輝子, 林 央周, 遠藤俊郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: パーキンソン病に対する両側視床下核刺激療法による認知機能および精神機能の変化の検討. 第47回日本定位・機能神経外科学会, 2008, 1, 25-26, 浜松.
- 11) 山本由加里\*, 水口志賀子: 看護部オープンセミナーにおける災害訓練. 第13回日本集団災害医学会, 2008, 2, 10-11, 茨城.
- 12) 水口志賀子, 山本由加里: 災害医療勉強会に対するニーズを用いた学習方法の検討. 第13回日本集団災害医学会, 2008, 2, 10-11, 茨城.
- 13) 道具伸浩, 温井孝昌, 平野恒治, 豊田茂郎, 田口芳治, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 旭 雄士, 遠藤俊郎, 井上雄吉: 脳深部刺激療法を施行した AR-JP の1例. 第10回北陸神経疾患研究会, 2008, 3, 1, 金沢.

- 14) 今村知代, 菅原利夫, 山下徹郎, 野口 誠: 第一回 DCLS コース開催とアンケート結果. 第 62 回日本口腔科学会, 2008, 4, 17, 福岡.
- 15) 高橋千晶\*, 奥寺 敬: 救急救命士教育への新しい意識障害評価法導入の必要性と ECS の可能性について. 第 11 回日本臨床救急医学会, 2008, 6, 7-8, 東京.
- 16) 奥寺 敬: 脳卒中救急医療の標準化-病院前救護から救急初療室まで-ISLS (教育講演). 第 11 回日本臨床救急医学会, 第 11 回日本臨床救急医学会, 2008, 6, 7-8, 東京.
- 17) 石橋良美, 旭 雄士, 更田雅美. 脳深部刺激電極・刺激装置挿入術クリティカルパス. 第 5 回富山県クリニカルパス研究会, 2008, 6, 15, 富山.
- 18) 高橋千晶\*, 奥寺 敬, 坂本哲也, 有賀 徹, 太田富雄, 折笠秀樹: E-COMET 研究報告. 第 22 回日本神経救急学会学術集会, 2008, 6, 21, 東京.
- 19) 今村知代, 林 厚志, 山田浩太, 布施浩樹, 若杉雅浩, 奥寺 敬, 野口 誠: 外傷初期診断入門セミナーの受講経験について. 中部歯科麻酔学会, 2008, 6, 28, 豊明.
- 20) 高橋千晶\*, 奥寺 敬, 坂本哲也, 有賀 徹, 太田富雄: 2 つの E-COMET の概要と中間報告. 第 17 回日本意識障害学会, 2008, 7, 18-19, 岐阜.
- 21) 峯 隼人, 旭 雄士, 高橋千晶, 若杉雅浩, 安田佐智子, 奥寺 敬: 医学教育の一環としての化学災害訓練の試み. 第 26 回富山救急医療研究会, 2008, 8, 23, 富山.
- 22) 今村知代, 奥寺 敬, 有賀 徹, 池上敬一, 坂本哲也: 歯科・口腔外科のための DCLS (Dental Crisis Life Support) コースの開発. 第 26 回富山救急医療研究会, 2008, 8, 23, 富山.
- 23) 井上さやか, 田淵英一, 能登久美子, 今村知代, 野口 誠, 古田 勲: 咬合異常が高校生の食生活や心身の健康意識に及ぼす影響. 第 42 回日本味と匂学会, 2008, 9, 17, 富山.
- 24) 栗本昌紀, 永井正一, 壺井祥史, 旭 雄士, 林 央周, 高岩亜輝子, 桑山直也, 遠藤俊郎: 覚醒下手術における negative mapping strategy の有用性. 第 67 回日本脳神経外科学会総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 25) 旭 雄士, 中道尚美, 浜田秀雄, 高岩亜輝子, 林 央周, 遠藤俊郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: パーキンソン病に対する両側視床下核刺激術の認知機能および精神機能への影響. 第 67 回日本脳神経外科学会総会・学術集会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 26) 高橋千晶\*, 奥寺 敬, 旭 雄士, 坂本哲也, 有賀 徹, 太田富雄: Emergency Coma Scale (ECS) 開発の現状と課題. 第 67 回日本脳神経外科学会総会・学術集会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 27) 田口芳治, 高嶋修太郎, 温井孝昌, 平野恒治, 道具伸浩, 豊田茂郎, 旭 雄士, 田中耕太郎. パーキンソン病における camptocormia に対する両側視床下核脳深部刺激療法の効果について. 第 2 回 Movement Disorder Society Japan 学術集会, 2008, 10, 2-4, 京都.
- 28) 奥寺 敬, 坂本哲也, 安心院康彦, 有嶋拓郎: シミュレーション研修としての I S L S (シンポジウム), 第 36 回日本救急医学会総会・学術集会, 2008, 10, 13-15, 札幌.
- 29) 高橋千晶\*, 若杉雅浩, 旭 雄士, 奥寺 敬: ECS における正確性の検討 -E-COMET STEP II-. 第 36 回日本救急医学会総会・学術集会, 2008, 10, 13-15, 札幌.
- 30) 今村知代, 奥寺 敬, 野口 誠: 外傷初期診断入門セミナーの受講経験について. 第 53 回日本口腔外科学会総会, 2008, 10, 20, 徳島.
- 31) 今村知代, 奥寺 敬, 菅原利夫, 山下徹朗, 野口 誠: D C L S コース開催とアンケート結果. 第 53 回日本口腔外科学会総会, 2008, 10, 20, 徳島.
- 32) 今村知代, 荒井直也: 富山大学歯科口腔外科 臨床活動統計について. 第 14 回アルペン口腔科学フォーラム, 2008, 11, 2, 富山.
- 33) 中道尚美, 高嶋修太郎, 高岩亜輝子, 旭 雄士, 浜田秀雄, 田中耕太郎, 遠藤俊郎: パーキンソン病の認知機能. 第 23 回日本高次機能障害学会, 2008, 11, 松山.
- 34) 吉崎めぐみ\*, 山本由加里, 橋本真由美: 看護師向け脳卒中初期診療コース後のアンケート分析 (N-I S L S 第 2 報). 第 10 回日本救急看護学会学術集会, 2008, 11, 7-8, 名古屋.
- 35) 山本由加里\*, 吉崎めぐみ, 橋本真由美: 「看護師による看護師のための ISLS コース(N-ISLS)」の開発. 第 10 回日本救急看護学会学術集会, 2008, 11, 7-8, 名古屋.

#### ◆ その他

- 1) 旭 雄士: 定位・機能神経外科治療の最新ガイドラインと富山大学における治療の現状. 第 4 回富山県神経内科医会

研究会, 2008, 1, 26, 富山.

- 2) 中道尚美, 高岩亜輝子, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 旭 雄士, 遠藤俊郎: パーキンソン病の精神機能について. 第 12 回富山認知症研究会, 2008, 2, 23, 富山.
- 3) 奥寺 敬: クローズアップ脳卒中救急 -4 疾患・5 事業における位置づけ-. 日本医師会生涯教育講座・学術講演会, 2008, 2, 15, 長野.
- 4) 奥寺 敬: 脳卒中救急と ISLS. 脳卒中初期診療 (ISLS) 講演会, 2008, 2, 16, 長野.
- 5) 奥寺 敬, 丹下大祐: 脳卒中急性期-地域における連携-. (特別講演) 広島脳卒中セミナー2008-超急性期脳卒中の診断と治療-. 2008, 3, 6, 広島.
- 6) 奥寺 敬: 北陸の医療が目指すべき姿. パネルディスカッション: 国土形成計画シンポジウム-北陸のこれからを考える, 2008, 3, 6, 金沢.
- 7) 奥寺 敬: 特殊災害 (テロ) の医療の特徴. 富山県医師会労災医療研修会, 2008, 3, 26, 富山.
- 8) 奥寺 敬: 脳卒中救急とシミュレーション研修. (特別講演) 第 13 回静岡脳血管障害研究会, 2008, 4, 4, 静岡
- 9) 奥寺 敬: 地域救急医療と医療崩壊-われわれは何をすべきか? 日本農村医学会新潟地方会第 58 回例会, 2008, 4, 4, 長岡.
- 10) 奥寺 敬: 食品薬害中毒等における救急対応について. 平成 20 年度砺波広域圏救急医療講演会, 2008, 5, 23, 砺波.
- 11) 奥寺 敬: 地域救急医療崩壊とシミュレーション研修. 日本医科大学セミナー, 2008, 5, 24, 東京.
- 12) 旭 雄士: 富山大学におけるパーキンソン病に対する脳深部刺激療法の治療経験～よりよい治療効果を得るために～. 富山パーキンソン病フォーラム, 2008, 6, 6, 富山.
- 13) 今村知代: 歯科診療中に●●が起こったら! 石川県羽咋歯科医師会研修会, 2008, 6, 羽咋. (招待講演)
- 14) 奥寺 敬: これからの地域救急医療のあり方. 糸魚川市地域医療フォーラム, 2008, 6, 14, 糸魚川.
- 15) 奥寺 敬: 脳神経外科専門医制度と脳卒中シミュレーション研修. 第 8 回南信脳神経外科研究会, 2008, 6, 27, 伊那.
- 16) 奥寺 敬: 脳卒中急性期初期診療: ISLS-地域における連携-. 第 7 回飯伊脳卒中リハビリテーション研究会, 2008, 6, 28, 飯田.
- 17) 奥寺 敬: ISLS: Immediate Stroke Life Support-脳卒中初期診療-. 第 28 回兵庫脳卒中研究会, 2008, 7, 3, 神戸.
- 18) 奥寺 敬: 臨床研修医に求められる脳卒中初期診療とは. 第 28 回西湘脳神経外科懇話会, 2008, 7, 5, 伊勢原.
- 19) 高橋千晶: 心肺蘇生と AED の正しい使い方. 平成 20 年度富山市民病院 AED 講習会, 2008, 7, 4, 富山.
- 20) 奥寺 敬: 特別講演 ISLS とシミュレーション研修. 第 7 回岡山救急初療研究会, 2008, 7, 18, 岡山.
- 21) 奥寺 敬: 特別講演 脳卒中初期診療研修システム-ISLS. 脳卒中救急講演会, 2008, 7, 20, 北九州.
- 22) 奥寺 敬: 脳卒中のシミュレーション研修 ISLS. 第 7 回北信越脳神経外科同門の集い, 2008, 7, 25, 長野.
- 23) 奥寺 敬: 大規模災害における病院機能の継続. 第 18 回新潟手術室セミナー (特別講演), 2008, 9, 6, 新潟.
- 24) 奥寺 敬: 災害医療と最新のシミュレーション教育について-BTEC と ETS-. 上伊那メディカルコントロール協議会, 2008, 9, 26, 伊那.
- 25) 奥寺 敬: 脳卒中救急と I S L S. 第 3 回・4 回信州 ISLS/PSLS 合同講演会, 2008, 9, 27, 伊那.
- 26) 旭 雄士: 富山大学におけるパーキンソン病と慢性頑性疼痛の手術治療経験. 脳・脊髄刺激療法座談会, 2008, 10, 16, 高岡.
- 27) 奥寺 敬: 医療崩壊とシミュレーション研修. 第 10 回小矢部川カンファレンス, 2008, 10, 21, 富山.
- 28) 奥寺 敬: これからの地域救急医療のあり方. 第 14 回黒部市民病院公開医学講座, 2008, 10, 25, 富山.
- 29) 奥寺 敬: 肺移植・移植医療における救急医療のあり方. 肺移植 10 周年記念講演会: 市民公開講座, 2008, 11, 1, 長野.